

第3年次事業報告書
(2022.9.1-2023.8.31)

特定非営利活動法人 Nagoya Ryugakusei Net

1 事業の成果

Nagoya Ryugakusei Net（以下、当NPO）は、NPO法人として、3年次に入った。

前年度の定例運営会議において、留学生の要望をよりの確に知る必要であるという指摘があり、その結果、留学生からの要望に基づいて、(2)研修事業である **Explore Japan** 事業を実施した。この事業によって、日本について多方面の知識を得る機会を大学院留学生に提供することができた。

(2)研修事業である **Explore Japan** 事業については、少ない参加人数でおこなうことも、20名前後で行うことも可能とするように柔軟な企画を行うこととした。本年度、この「**Explore Japan**」のプログラムを様々な分野で展開でき、多様な専門領域の留学生の参加があった。

この事業の実施には当たって、「赤い羽根共同募金会」の「外国にルーツをもつ人々への支援活動応援助成」プログラムによる助成を受けることができた結果、バスをチャーターすることができるようになり、1日単位の研修プログラムを提供することができた。

日本の航空技術の発展を展示する「そら博」訪問には、定員をはるかに超える参加希望者があり、2回開催（3月16日、4月10日）することとなった。その他、「名古屋の都市計画と街並み保存：PartⅡ都市センターと有松」（6月6日）、「戦後の経済発展と公害：四日市から学ぶ」（7月28日）、「名古屋の上下水道：PartⅢ岩屋ダムと犬山取水口」（8月7日）等の行事を開催することができた。

これらの行事の実施に当たっては、名古屋都市センター、名古屋市上下水道局、四日市公害と環境未来館の協力によって専門家による詳しい説明を受けることができた。専門家による詳しい説明は、整然としており、また方法も多様であったので、留学生たちにとっては興味深くかつ理解しやすく、それぞれの関心にしたがって日本理解を深めたものと思われる。また、「そら博」を始めとしていくつかの施設や公共機関で入場料を免除していただいた。サポーターとして参加した会員、賛助会員の入場料をも免除していただけたので、とてもありがたかった。

また、「餅つき大会」は、日本の家族、親族、職場、近隣の多様な人間界の中で20年以上にわたって行われてきた行事に参加する機会を得ることができた。コロナに対する諸処置をとったうえで、餅米の蒸しあがるのを身近にみて、杵をとって、こねるところから餅つきに参加し、更に、丸餅の形にして、各自自宅に持ち帰ることができた。イベントの終了間際には、留学生に同伴した子供が滞在期間が長くはないのに日本語で小学校校歌を披露したりして、参加者全員が楽しんだ。大学以外で日本社会と触れ合う機会が少ない留学生にとっては、繰り返し話に出るほどの貴重な経験であった。

(3)相談解決支援事業においては、多様な相談が寄せられた。単に相談を受け付けるだけでなく、それぞれの問題の解決まで対応することができ、また、現在も対応中の事例もある。

日本語を修得したい、日本人と話したいと希望して留学したのに、日本人学生と友人になれない、日本人学生と話したいという切実な要望に対して、神田外語大学の学生とのZoomによる話し合いを実施した。また、東京外語大学からの協力の申出があり、今後の制度整備を行うことが課題である。

(4)緊急時短期奨学金事業に関しては、大きな展開があった。①この制度に基づく最初の奨学金給付を行った。②①の制度による給付をおこなってもカバーできない対象大学院生の生死にかかわる病気の治療費が発生することが見込まれたために、特定目的の募金活動を行った。③②の募金活動の結果、治療費予定額を超える募金が集まった。④対象学生から治療費について予定額だけで十分であるとの申し出があったので、治療費予定額を超える募金について、募金の目的に従って、緊急時短期奨学金事業の原資に充てることになった。⑤その結果、緊急時短期奨学金事業を基金の点でも充実させ、制度的にも整えることが必要となり、来年次以降の大きな課題となった。

(5)交流事業のうち、Walk & Talk は、当 NPO が土曜日午前中に行うイベントである。留学生とその家族が比較的気軽に参加できる事業であるために、年次当初から、順調に開催することができた。また、Explore Japan のテーマ、例えば、「名古屋の上下水道」に関連して、3月末に Walk & Talk: 水の歴史資料館を開催して、子ども連れの参加を可能としたり、出身国から訪問している家族の参加も可能としたりすることができた。参加者がそれぞれに他の家族に手を差し伸べる姿が見られ交流の場としても、気分転換の場としても、よく機能していると評価できる。

全体を外観すると、年次の後半にはコロナ禍が収束期に入ったが、12月の Year-end Party や「Explore Japan : 餅つき」の実施に当たっては、健康上の理由から行事に欠席する留学生が多数みられ、影響を受けた。

当法人の行事が原因となる健康上の問題が発生しなかったのは、多様な対策を講じた結果であるが、それにしても幸いであったと考えている。

本年度、「Explore Japan」のプログラムを様々な分野で展開でき、多様な専門領域の留学生の参加があったことは、成果であった。この広報に当たっては、多様な機関の協力を得ることができ(1)ネットワーク構築を深めることができたので、今後も協力関係を維持していきたいと考えている。

2 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

以下の表は、事業の実績を示している。

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位:円)
(1) 専門分野に関連する情報を収集し、情報網を構築して、情報を提供する事業	i) 整備した情報網を安定的に維持し、この環境をベースにして国内外の社会事情及び専門的情報の収集のための基盤を一応作ることができた。有効でわかりやすい情報提供ができるように更に工夫を重ねる必要がある。	(A) 通年 (B) 事務所 (C) 3名	(D) 内外の大学院生、若手研究者、専門家 (E) 100名	計 624,689
(2) 専門教育を補助する勉強会・研修会を実施支援する事業	i) Research Audience Program (発表の体験、質問のさばき方などの技能訓練)	(A) 随時 (B) Zoom (C) 0名	(D) 外国人大学院生及び外国人若手研究者 (E) 0名	計 0
	ii) 受益対象者が行う大学外の専門機関・企業・社会等における調査に対する支援 (Off Campus Supporter の紹介、付き添い、通訳等の支援サービス)	(A) 随時 (B) 神田外語大学生 Zoom (C) 5名 (うちボランティア活動時間 20時間)	(D) 外国人大学院生 (E) 5名	計 20,800 (ボランティア評価費用 20,800)

	<p>iii) Explore Japan: 日本の社会と人を掘り下げて理解する機会を提供する。 Day Tour Workshop その他 ア)「餅つき行事」 2022/12/30 イ)「岐阜、航空宇宙博物館」 2023/03/16 & 04/10 ウ)「名古屋の上下水道 Part I」 2023/03/25 エ)「名古屋の上下水道 Part II」 23/04/19 オ)「都市計画と町並み保存 Part I」 23/5/26「都市計画と町並み保存 Part II」 23/06/08 カ)「戦後日本の経済発展と大気汚染」 23/07/28 キ)「名古屋の上下水道 Part III」 23/08/07</p>	<p>(A) 8回 (B) 名古屋から日帰りツアー 左記 (C) (ボランティア活動時間 99時間)</p>	<p>(D)名古屋地域の外国人大学院生及び外国人若手研究者 (E)各 20-25 名 参加者延 125 名</p>	<p>計 886,004 (ボランティア活動費用 102,960)</p>
<p>(3) 専門研究を遂行するための支障となる事情についての相談・解決支援事業</p>	<p>持ち込まれた相談について、どの機関に行けばよいか、どのような解決手段があるか等についての情報を提供し、または解決のために専門家を紹介し解決まで伴走する。</p>		<p>(D)名古屋地域の外国人大学院生及び外国人若手研究者 (E) 4名</p>	<p>計 50,000 (ボランティア活動費用 50,000)</p>

(4) 予期せぬ出来事によって研究継続が困難となった場合の短期奨学金事業	名古屋地域の外国人大学院生及び外国人若手研究者に生じた予測できない教育研究継続上の困難に対する短期奨学金給付制度を創設し実施する。	(A) 随時 (B) 事務所	(D) 名古屋地域の外国人大学院生及び外国人若手研究者 (E) 1名 医療費補助のため募金を実施した	計 408,232 (含 奨学金給付 100,000 医療費補助 300,000)
(5) それぞれの地域、専門分野において行われる専門家との交流を促進し補助する事業	i) Walk & Talk ア) 「東山植物園」 22/10/01 イ) 「名城公園と名古屋城」 22/10/22 ウ) 「七里の渡し」 22/11/26	(A) 3回 (B) 60名 (C) ボランティア 3名	(D) 大学院留学生、外国人若手研究者、及び修了した専門家等並びにその家族 (E) 50名	計 36,680 (ボランティア評価費用 12,480)
	ii) Year-end Party 22/12/25	(A) 論文の提出 〆 切日 (B) 事務所 (C) ボランティア 1名	(D) 大学院留学生、外国人若手研究者、及び修了した専門家等並びにその家族 (E) 17名	計 17,502 (ボランティア評価費用 3,120)

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

ア 通常総会

(ア) 開催日時及び場所

令和4年11月7日(月) 17:30~18:30

当法人事務所(名古屋市昭和区宮東町37番地) 2階会議室及び Zoom 会議

(イ) 議題

1 第2年次通常総会提出議案の件

- (1) 第1号議案 役員選任に関する件
- (2) 第2号議案 第2年次事業報告書案承認の件
- (3) 第3号議案 第2年次活動決算書案承認の件
- (4) 第4号議案 第3年次事業計画書案承認の件

(5) 第 5 号議案 第 3 年次活動予算書案承認の件

(2) 理事会

ア 第 1 回理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和 4 年 10 月 17 日(月) 17:30~18:30

当法人事務所 (名古屋市昭和区宮東町 3 7 番地) 2 階会議室及び Zoom 会議

(2) 議題

1 第 3 年次通常総会提出議案の件

(1) 第 1 号議案 役員選任に関する件

① 理事の選任

任期 2022 年 12 月 1 日~2024 年 11 月 30 日

② 監事の選任

任期 2022 年 12 月 1 日~2024 年 11 月 30 日

(2) 第 2 号議案 第 2 年次事業報告書案承認の件

(3) 第 2 号議案 第 2 年次活動決算書案承認の件

(4) 第 3 号議案 第 3 年次事業計画書案承認の件

(5) 第 4 号議案 第 3 年次活動予算書案承認の件

2 報告事項

(1) 会員数及び賛助会員数について

(2) その他

イ 第 2 回理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和 4 年 11 月 7 日 (月) 17:30~18:30 の通常総会後開催

当法人事務所 2 階会議室及び Zoom 会議

(イ) 議題

決議事項

1 理事長の選任 (定款第 1 4 条第 2 項により、「理事の互選とする」)

2 副理事長の選任 (同)

3 事務局長を兼ねる理事の選任 (同)

エ 第 3 回理事会

(ア) 開催日時及び場所

令和 5 年 8 月 7 日 (月) 18:00~19:00

当法人事務所 2 階会議室及び Zoom 会議

(イ) 議題

決議事項

1 法人の規程の制定

- ① 役員報酬規程
 - ② 講師報酬支払規程
 - ③ 旅費等支払規程
- 2 利益相反の可能性のある契約の承認
- ① 使用貸借契約書
- 3 次回理事会を次期定時総会と同一日に開催することの承認

活動計算書

令和4年9月1日から令和5年8月31日まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	120,000	
賛助会員受取会費	408,000	528,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	463,000	
施設受入評価益	399,950	
ボランティア受入評価益	189,360	1,052,310
3. 受取助成金等		
受取助成金	380,530	380,530
4. 事業収益		
事業収益	0	0
5. その他収益		
受取利息	38	
雑収益	0	38
経常収益計		1,960,878
II 経常費用		
1. 事業費		
(1)人件費		
給料手当	0	
ボランティア評価費用	189,360	
人件費計	189,360	
(2)その他経費		
施設受入評価費用	399,950	
光熱費NTT分担金	177,216	
諸謝金(含事業委託費)	167,055	
印刷製本費	0	
会議費	193,471	
旅費交通費	437,730	
通信運搬費	37,780	
消耗品費	24,010	
保険料	11,010	
雑費(含支払手数料)	6,325	
奨学金・給付金	400,000	
その他経費計	1,854,547	
事業費計		2,043,907
2. 管理費		
(1)人件費		
給料手当	0	
ボランティア評価費用	0	
人件費計	0	
(2)その他経費		
諸謝金	33,000	
印刷製本費	24,630	
会議費	0	
福利厚生費	0	
研修費	0	
旅費交通費	1,300	
通信運搬費	27,908	
消耗品費	45,339	
保険料	0	
雑費(含支払手数料)	990	
その他経費計	133,167	
管理費計		133,167
経常費用計		2,177,074
当期経常増減額		△ 216,196
III 経常外収益		
1. 過年度損益修正益		0
経常外収益計		0
IV 経常外費用		
1. 過年度損益修正損		0
経常外費用計		0
税引前当期正味財産増減額		△ 216,196
法人税、住民税及び事業税		0
当期正味財産増減額		△ 216,196
前期繰越正味財産額		4,294,363
次期繰越正味財産額		4,078,167

財務諸表の注記（3年次）

1 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協会）によっています。

(1) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

施設の提供等の物的サービスの受け入れは、活動計算書に計上しています。

また、計上額の算定方法は「4 施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」として記載しています。

(2) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は「5 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(3) 光熱費通信費分担金

光熱費通信費分担金は「6 光熱費通信費分担金の算定の基礎となる各費用の内訳」として注記しています。

2 事業別損益の状況

事業別損益の状況は別表1の通りです。

3 使途等が制約された寄付金等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

- (1) 2022年10月28日に「赤い羽根募金（社会福祉法人中央共同募金会）」から「外国にルーツある人々への支援活動応援助成第3回」により助成金100万円の交付決定を受けました。事業の実施期間は、2022年10月1日～2023年9月30日とされています。そして、仮払金として、2022年11月18日に660,000円の交付を受けました。

その「特定助成金」は、各種事業のうち(2)研修事業の内の「Explore Japan」行事のバスのチャーター代に充てることとして助成申請をしました。したがって、同事業の勘定科目「旅費交通費」のうち「バスのチャーター代」に限定しての支出が認められています。

2023年8月31日までに支出しました当該「バスのチャーター代」は、380,530円です。したがって、受取助成金として、380,530円を計上します。また、660,000円と380,530円との差額279,470円を仮受金として計上します。

また、9月30日までに支払う予定（未請求。未払い）の「バスのチャーター代」を含めても、660,000円には満たないために、助成金の返還を予定しています。

- (2) 2023年1月に、修士号を得て3月に帰国予定の大学院留学生から、がんが見つかり3月中旬に手術を受ける予定であるが、帰国を延長するための生活費も治療費も十分ないととの相談を受けました。各種事業のうちの(3)緊急時短期奨学金の給付{10万円}をすることにして、直接その金額を手渡しました。

その後、本人と話し合い、手術後の放射線治療を含めて本人が負担することになる医療費の支払いには十分でないと判断し、必要となると見込まれる医療費代に充てるために30万円を目標として、賛助会員と会員に対して募金を呼びかけました。目標の30万円が集まった段階で、放射線治療中の留学生の口座に振り込み(振込料はゆうちょダイレクトを利用したために無料)しました。

募金活動の結果、総額453,000円の募金が集まった。他方、大学院留学生には本国の勤務先から突然帰国するようにとの連絡が入り、副作用診断を繰り返して帰国することになりました。帰国の挨拶に法人の事務所を訪れた留学生に募金が多く集まったことを伝えたところ、「医療費などの支払いに充てる十分な額をいただきました。外国でこのようなご支援をいただけるとは考えてもいませんでした。」とのこと、それ以上は必要ないととの意思表示でした。

会員間の定例運営会議で、募金の趣旨を生かすために、残金153,000円を(3)事業の短期臨時奨学金制度を次年度以降充実させる原資とすることを決めました。

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
赤い羽根募金特定助成金「外国にルーツある人々への支援活動応援助成第3回」事業	0	660,000	380,530	279,470
癌治療費のための募金	0	453,000	300,000	153,000
合 計	0	1,113,000	680,530	432,470

4 施設の提供等の物的サービスを受入の内訳

内容	金額
施設受入評価益	399,500

算定方法

$$\begin{aligned} & \text{土地・建物の令和5年度の固定資産税額} \times \text{使用割合} \times 10 \times \text{使用期間} \\ & 79,900 \qquad \qquad \qquad \times \quad 1/2 \quad \times 10 \times \quad 12/12 \\ & = 399,500 \end{aligned}$$

5 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供についての算定方法

内容	金額
ボランティア受入評価益	187,360

算定方法

- ① 会員が事業の執行に関与した場合や事務所にて事務を執った場合には特別な能力を使用する場合を除いて、ボランティアによる役務の提供とは考えない。
- ② 弁護士である会員が、交通事故の被害者となった大学院留学生の賠償請求についての相談を受け、事実の概要を聞き取り、その問題処理が得意な他の弁護士に受任を要請し、同伴して説明をして、その後も留学生のために助言した場合について、行政機関等の法律相談を担当する場合に通常支払われる相談料30分5,000円、つまり1時間10,000円の役務の提供があったとして算定する。

$$10,000 \text{ 円} \times 5 \text{ 時間} = 50,000 \text{ 円}$$

したがって、相談業務に関するボランティア評価益は、50,000円である。

- ③ 賛助会員、ボランティア会員の役務の提供に関して、原則最低賃金による計算をすることになり、愛知県の最低賃金である1,040円で計算する。

事業、及び行事ごとの役務の提供の人数、時間、ボランティア評価益は、以下のとおりであり、総額は、139,360円である。

事業	行事	人数× 時間	総時間 /日	1040円 ×時間	ボランティア 評価益
Off Campus Support		4×5	20	20,800	20,800
Explore Japan	そら博3/16	1×8	8	8,320	
	そら博4/10	1×8	8	8,320	
	名古屋の上下水道 3/26	1×3	3	3,120	
	名古屋の上下水道 4/19	2×7	14	14,560	
	名古屋の上下水道 8/7	2×9	18	18,720	
	名古屋の都市計画 5/27	2×4	8	8,320	
	名古屋の都市計画 6/5	2×8	16	16,640	
	四日市 7/28	3×8	24	24,960	102,960
Walk & Talk	東山植物園 10/1	1×3	3	3,120	
	名古屋城 10/22	2×3	6	6,240	
	白鳥公園 11/26	1×3	3	3,120	12,480
Year-end Party	事務所 12/25	1×3	3	3,120	3120
計			134	139,360	139,360

6 光熱費通信費分担金の算定の方法

NPO法人は家屋の半分を使用している。

家屋所有者は、家屋の半分に居住していないので、電気ガス水道電話インターネットの使用者は専らNPO法人であるので、NPO法人に10分の9の分担金の支払いを求める。

1年間の光熱費の総額は196,907円であるので、その10分の9は、177,216円である。したがって、光熱費通信費分担金として177,216円を負担する。

基礎となる各費用の内訳

	電気ガス	水道	NTT	合計
9月請求分	6,840		7,287	14,127
10月請求分	7,349	2,607	5,963	15,919
11月請求分	4,296		7,299	11,595
12月請求分	6,179	2,607	7,603	16,389
1月請求分	11,066		7,744	18,810
2月請求分	14,979	2,607	7,312	24,898
3月請求分	12,082		7,365	19,447
4月請求分	9,798	2,607	7,559	19,964
5月請求分	5,581		7,410	12,991
6月請求分	4,265	2,607	7,377	14,249
7月請求分	4,903		7,340	12,243
8月請求分	6,355	2,607	7,313	16,275
計	93,693	15,642	87,572	196,907

財務諸表の注記 別表 事業別収支

(単位:円)

科 目	(1)ネットワーク構築事業	(2)Research Audience	(2)Off Campus Supporter	(2)Explore Japan	(3)相談・解決支援事業	(4)短期臨時奨学金	(5)Wall & Talk事業	(5) 交流会事業	事業部門計
I 経常収益									
1. 受取会費	108,000	0	0	0	0	0	0	0	108,000
2. 受取寄附金	418,000	0	0	0	0	453,000	0	0	871,000
施設受入評価益	399,950	0	0	0	0	0	0	0	399,950
ボランティア評価益	0	0	20,800	102,960	50,000	0	12,480	3,120	189,360
3. 受取助成金等	0	0	0	380,530	0	0	0	0	380,530
4. 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	925,950	0	20,800	483,490	50,000	453,000	12,480	3,120	1,948,840
II 経常費用									
(1) 人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボランティア評価費用	0	0	20,800	102,960	50,000	0	12,480	3,120	189,360
人件費計	0	0	20,800	102,960	50,000	0	12,480	3,120	189,360
(2) その他経費									
施設受入評価費用	399,950	0	0	0	0	0	0	0	399,950
光熱費NTT分担金	177,216	0	0	0	0	0	0	0	177,216
諸謝金	0	0	0	167,055	0	0	0	0	167,055
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費(含入場料)	0	0	0	158,669	0	0	22,100	12,702	193,471
旅費交通費	0	0	0	437,730	0	0	0	0	437,730
通信運搬費	29,548	0	0	0	0	8,232	0	0	37,780
消耗品費	12,310	0	0	11,370	0	0	0	330	24,010
保険料	0	0	0	7,560	0	0	2,100	1,350	11,010
雑費(含振込料等)	5,665	0	0	660	0	0	0	0	6,325
奨学金・給付金	0	0	0	0	0	400,000	0	0	400,000
その他経費計	624,689	0	0	783,044	0	408,232	24,200	14,382	1,854,547
事業費計	624,689	0	20,800	886,004	50,000	408,232	36,680	17,502	2,043,907
当期経常増減額	301,261	0	0	△ 402,514	0	44,768	△ 24,200	△ 14,382	△ 95,067

貸借対照表

令和5年8月31日現在

特定非営利活動法人Nagoya Ryugakusei Net

単位：円

科目・摘要	金額		
I資産の部			
1流動資産			
現金預金	4,375,637		
未収金	12,000		
前払金	0		
流動資産合計		4,387,637	
2固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,387,637
II負債の部			
1流動負債			
未払金	0		
前受金	30,000		
仮受金	279,470		
流動負債合計		309,470	
2固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			309,470
III正味財産の部			
前期繰越正味財産		4,294,363	
当期正味財産増減額		△216,196	
正味財産合計			4,078,167
負債及び正味財産合計			4,387,637

財産目録

令和5年8月31日現在

特定非営利活動法人Nagoya Ryugakusei Net

単位:円

科目・摘要	金額		
I資産の部			
1流動資産			
現金預金	4,375,637		
未収金	12,000		
前払費用	0		
流動資産合計		4,387,637	
2固定資産			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
固定資産合計		0	
資産合計			4,387,637
II負債の部			
1流動負債			
未払金	0		
前受金	30,000		
仮受金	279,470		
流動負債合計		309,470	
2固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			309,470
正味財産			4,078,167

特定非営利活動法人Nagoya Ryugakusei Net

役員名簿

令和 4 年 9 月 1 日 から 令和 5 年 8 月 31 日

役名	氏名	就任期間	報酬を受けた期間
理事	ハマダ ミチヨ 濱田 道代	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	モリヤマ アキオ 森山 昭夫	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	オクダ サチ 奥田 沙織	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	カヤマ シゲル 加賀山 茂	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	ホシヤ ヒデユキ 星屋 秀幸	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	マツウラ ヨシハル 松浦 好治	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	コザキ カズコ 小崎 和子	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	マツウラ イツコ 松浦 以津子	2022年9月1日～2023年8月31日	無
理事	アダチ マモル 足立 守	2022年12月1日～2023年8月31日	無
監事	アダチ マモル 足立 守	2022年9月1日～2022年11月30日	無
監事	シバタ ユキ 柴田 由紀	2022年9月1日～2023年8月31日	無
監事	イシカワ マサル 石川 勝	2022年12月1日～2023年8月31日	無

特定非営利活動法人 Nagoya Ryugakusei Net 社員名簿

令和5年8月31日現在

10名まで表示

氏名
濱田 道代
星屋 秀幸
加賀山 茂
森嶋 昭夫
足立 守
小崎 和子
奥田 沙織
石川 勝
松浦 好治
松浦以津子